

北海道におけるコンクリートの歴史

冊子版正誤表

頁	行(または図表番号)	誤	正
60	年表、1977年、 設計者	石本設計	(削除)
95	年表、1996年、 北海道でのできごと	根室線西1架道橋	根室線西3架道橋
102	年表、1910年、 北海道でのできごと	道内初の重力式コンクリートダム、千歳第1ダム	道内初の重力式コンクリートダム、千歳川第1ダム
118	下から5行目	最初の鉄筋コンクリート造り	最初のコンクリート造り
119	年表、1889年、 北海道でのできごと	鉄筋コンクリート造り	コンクリート造り
167	写真 3.17	日本初のRC橋	日本初の鉄筋コンクリートアチ橋・山の谷橋(田辺朔朗の弟子により1904年琵琶湖疎水に建設、日本初のRC橋は田辺朔朗による日ノ岡第11号橋で同じく琵琶湖疎水に1903年建設された)
168	上から18行目	3.3.11 維補強コンクリート	3.3.11 繊維補強コンクリート
174	年表、1811年、 その他	仏 <u>Louis</u> Joseph Vicat がセメントの・・・	仏 <u>Louis</u> Joseph Vicat がセメントの・・・
174	年表、1871年、 その他	米 T. Hyatt 屋根版、階段、・・・アーチ構造の特許(～1981年)	米 T. Hyatt 屋根版、階段、・・・アーチ構造の特許(～1881年)
174	年表、1886年、 その他	米 P. H. Jackson はコンクリートの圧縮を入れる特許を申請	米 P. H. Jackson はコンクリートに圧縮を入れる特許を申請(PC)
174	年表、1888年、 北海道でのできごと	函館水道元町配水池ではコンクリートを鉄道函車で運搬し、牆壁形の木製型枠を用いた	(削除)
174	年表、1889年、 北海道でのできごと	(追加)	函館元町中区配水池完成、国内最初の日本人設計によるコンクリート製水道施設、(函館水道元町配水池ではコンクリートを鉄道函車で運搬し、牆壁形の木製型枠を用いた)、1923年鉄筋コンクリートの覆蓋をなし土礫にて覆う
174	年表、1896年、 北海道でのできごと	(追加)	小樽港でモルタル長期耐久性試験始まる(～2142年)
174	年表、1897年、 北海道でのできごと	小樽港北防波堤工事でブリケット試験結果から天然ボゾランを使用(天然ボゾランのブリケット試験は前年から)	(削除)
175	年表、1902年、 北海道でのできごと	(追加)	小樽港北防波堤工事でブリケット試験結果から天然ボゾランを使用(天然ボゾランのブリケット試験は前年から)
176	年表、1932年、 その他	仏フレシネ日本PS特許取得	仏フレシネPS特許取得
176	年表、1935年、 北海道でのできごと	十勝大橋では振動機米国内部振動機(パイパ-)を輸入、また極太径鉄筋 44mm 及び鍛接継手の採用	十勝大橋で寒中施工、練混ぜ水を60以上に加熱し、気温-15以下の場合は砂利を加熱し、コンクリート温度を5以上に保つ
176	年表、1936年、 北海道でのできごと	十勝大橋で寒中施工、練混ぜ水を60以上に加熱し、気温-15の場合は砂利を加熱し、コンクリート温度を5以上に保つ	十勝大橋では米国より内部振動機(パイパ-)を輸入、また極太径鉄筋 44mm 及び鍛接継手の採用
176	年表、1949年、 その他	天竜川水系平岡ダムでAE剤使用	(削除)

177	年表、1950年、その他	平岡ダムに AE 剤使用	天竜川水系平岡ダムに AE 剤使用
177	年表、1953年、その他	(追加)	フライアッシュ生産開始(最初の使用は東京電力須田貝ダム)
177	年表、1953年、その他	日本セメント中庸熟フライアッシュセメント製造開始	日本セメント中庸熟ポルトランドセメント製造開始
177	年表、1954年、その他	須田貝ダムにフライアッシュ使用	(削除)
177	年表、1955年、その他	東京電力須田貝ダムでフライアッシュ使用	(削除)
178	年表、1966年、北海道のできごと	国鉄第3石狩川鉄橋、豊平川橋梁などに、湿気硬化型ポリウレタン樹脂3回塗装	国鉄第3石狩川鉄橋、豊平川橋梁などに耐凍害性向上のため、湿気硬化型ポリウレタン樹脂3回塗装
185	年表、1936年、その他	北海道コンクリート設立	北海道コンクリート工業設立
187	年表、1910年北海道のできごと	1916~1930年頃王子製紙落合工場をRC構造で構築	(削除)
187	年表、1916年北海道のできごと	(追加)	1916~1930年頃王子製紙落合工場をRC構造で構築
187	年表、1971年北海道のできごと	~でサッシの打ち込みから塗装の仕上げまでを工場にて施工、完成品として出荷	~でサッシの打ち込みから塗装の仕上げまでを工場にて施工、完成品として出荷
195	上から9行目	質量は100~1,000kg/個以上	質量は100~1,000kg/個以上
280	【6.1.3-19】設計者:	石本設計	(削除)
280	【6.1.3-19】写真	写真 6.1.126	(写真を削除)
283	【6.1.3-29】備考:	チタン合金サッシを使用	チタン合金サッシを使用。底盤コンクリートが水中コンクリート。本体はフローティングドック上でプレコンを制作し、沈設した。
311	【3-14】表題	根室線西1条架道橋	根室線西3条架道橋
326	【8-1】表題、写真キャプション	王子製紙千歳第一発電所ダム	王子製紙千歳川第一発電所ダム
329	【9-1】コメント:	鉄筋コンクリート造り。	コンクリート造り。
335	【3-14】構造物名:	根室線西1条架道橋	根室線西3条架道橋
337	【8-1】構造物名:	王子製紙千歳第一発電所ダム	王子製紙千歳川第一発電所ダム
329	【9-3】完成時期:	1896年(明治32年)~1899年(明治32年)	1896年(明治29年)~1899年(明治32年)